

【工夫のポイント】

水田

- 整備した水田で野菜の栽培を開始し地域農業の振興を図る。
- 基盤整備を契機に、担い手への農地集積・集約を推進。

畑

- 霞ヶ浦用水を活用し、安定した営農の確立を目指す。

【取組地域の概要】

- 位置 ゆうき
茨城県 結城市

たけい
武井地区



茨城県

- 工期
・H30～R12
- 地区面積
・77ha
(水田:29ha 畑:48ha)
- 主要作物
・ハクサイ、レタス、キャベツ、ダイコン、米
- 主な支援施策
・県営かんがい排水事業
霞ヶ浦用水Ⅲ期地区(H5～)
・国営霞ヶ浦用水土地改良事業(S55～H20)

農地の基盤整備事業の実施により 農業競争力を強化

水田

- 区画整理や農道整備により、大型機械の導入や効率的な耕作が可能に。
- 用排水路の整備により排水不良の改善。

畑

- 霞ヶ浦用水を活用し高品質な農産物の安定生産を実現を図る。



整備された水田の様子

今後の整備により可能

かん水チューブによる畑かん

大型機械を用いた営農

基盤整備

(H30年～R12年予定)

【整備前】

区画は狭小で、現況道路は狭く屈折・蛇行しており、用排水路も未整備であったため、農作業に多大な労力を要していた。また、天候に左右される不安定な営農を余儀なくされていた。



狭く屈折した道路及び未整備の道路

水田畑地化による高収益作物の導入

水田

- 多品目の高収益作物(ナス、トウモロコシ、ネギ等)の作付けが可能に。
- 自然圧パイプラインの導入による維持管理の省力化。



畑地化されたほ場で栽培されているナス

霞ヶ浦用水の活用による多品目作物の導入

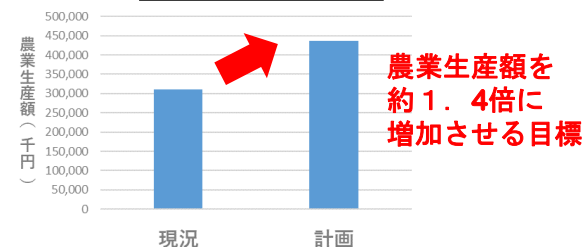
畑

- 霞ヶ浦用水を導入し、レタス、ダイコン、かぼちゃ等の作物を生産していく予定。

販売経路の積極的な拡大

- 高温耐性等を持ち注目されている米「にじのきらめき」の生産を開始し、海外への輸出を検討。
- かんしょ加工業者との契約につながり、人気品種のかんしょを栽培予定。

地区農業生産額の変化



農業生産額を
約 1.4倍に
増加させる目標

【出典：地区経済効果算定資料】

基盤

生産現場